

家庭の部 優秀賞 佐々木 裕哲 (有田川町)



花づくりや花壇の管理は誰がどのように行っていますか

紫陽花作りは今年で19年目になります。私と妻で行っています。小さな庭ですが、紫陽花の背丈が高くならないように配慮し、自然体で咲かせるよう管理しています。鉢植えが大半であるため、水やりが大変な作業で、1日に2時間以上かかります。夏場は朝夕2回、欠かせない作業です。剪定も大切で、6月から7月に行います。

ご近所や関係者の反応はどうか、またどのような交流が広がっていますか

平成16年から「恵紫園」と名付け、オープンガーデン（無料）にしています。期間は1ヶ月間で、その期間中の土日は夜のライトアップもしています。近隣の方のご厚意で、休耕地を一時駐車場として御協力いただいたりと、今では紫陽花と言えば「恵紫園」と言っていただけになりました。今年は、延べ2600人以上の方に来園いただき、中には、関西圏だけでなく、関東や沖縄からもはるばる来てくださった方もおられました。郡内6か所の老人施設に入所されている方々が毎年来園され、花を見て感動していただくのは、花作りの励みになっています。花を愛する人が多くなれば、明るい社会につながると思っています。自分でも花を育ててみたいという来園者には、無料で挿し芽を差し上げています。

